

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	公民館運営管理事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	02地域における教育・学習環境を整備する
施策	01生涯学習を推進する
事業実施期間	～ 永年
事業区分	①一般事務経費事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	社会教育法、加古川市立公民館の設置及び管理に関する条例、同条例施行規則

【事業概要】

現状と課題	住民のニーズ、趣味、趣向が多様化し、公民館を取り巻く状況の変化が近年著しい。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	公民館の「地域づくりの拠点」としての機能を高めるほか、市民の生涯学習内容の充実を図る
対象 ※誰、何に対して	別府公民館、尾上公民館以外の市立公民館10館
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	職員の資質向上や、事業の積極的な情報発信を行う。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	6,918千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	493千円
	一般財源	6,425千円

【会計】

会計	01一般会計
款	10教育費
項	07社会教育費
目	06公民館費
細目	010公民館運営管理事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	6,918千円	7,516千円	7,367千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	研修への参加により、職員の資質向上は図られている。また、定期的な公民館だよりの発行をはじめとした情報発信も行えた。

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	公民館運営管理事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
加古川市人口（4／1付推計人口）	人	263,954	265,524	266,451

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
研修等参加数	回	36	44	46
活動指標分析結果	今後も機会を逃さず、計画的に資質向上を行っていく必要がある。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
施設利用者数	人	798,777	840,473	845,996	平成31年度	799,000
成果指標分析結果	総人口及び利用者数ともに減少傾向にある。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	生涯学習推進事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	02地域における教育・学習環境を整備する
施策	01生涯学習を推進する
事業実施期間	～ 永年
事業区分	①一般事務経費事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	ガイドブックの内容をホームページで掲載し、より広く情報発信を行う。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市民が自主的・自発的に学習活動を行い、生きがいを持ち、心豊かに暮らすことができるよう、多様な学習機会の情報を提供することによって、学習活動で習得した知識・技術等の成果を地域に還元する。
対象 ※誰、何に対して	生涯学習の機会を求める市民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	多彩な学習機会の情報を掲載した「生涯学習ガイドブックすてっぷ」の内容をホームページに掲載し、気軽に検索が可能な環境を作る。(社会教育の知識、技能などの基礎を身につけた職員を養成するため、兵庫県・大阪府内で社会教育主事講習会が開催される場合は、1人参加する。)

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	728千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	165千円
	一般財源	563千円

【会計】

会計	01一般会計
款	10教育費
項	07社会教育費
目	01社会教育総務費
細目	010生涯学習推進事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	728千円	768千円	438千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 生涯学習ガイドブックすてっぷの作成により、生涯学習の情報提供、普及啓発は効果的に行われている。

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	生涯学習推進事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	公民館維持補修事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	02地域における教育・学習環境を整備する
施策	01生涯学習を推進する
事業実施期間	～ 永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	社会教育法、加古川市立公民館の設置及び管理に関する条例、同条例施行規則

【事業概要】

現状と課題	建設から相当年経過した館も多く、バリアフリー化や必要とされる設備の更新等を行う必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	適切な維持補修および定期的な施設保守を行うことで施設寿命の延長を図る。
対象 ※誰、何に対して	別府公民館、尾上公民館以外の市立公民館10館
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	維持管理及び施設保守

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	84,155千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	2,600千円
	その他特財	17,077千円
	一般財源	64,478千円

【会計】

会計	01一般会計
款	10教育費
項	07社会教育費
目	06公民館費
細目	040公民館維持補修事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	84,155千円	81,206千円	81,751千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 公民館の施設保守および危険防止に努めているが、施設の老朽化に伴い、突発的な修繕箇所が増加している。
---------------------------------------	---

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	公民館維持補修事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	尾上公民館管理運営事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	02地域における教育・学習環境を整備する
施策	01生涯学習を推進する
事業実施期間	平成27年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	尾上地区
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	住民のニーズ、趣味、趣向が多様化し、公民館を取り巻く状況の変化が近年著しい。また、当館は指定管理者が管理運営しており、その独自性を活かして事業展開を図っている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	管理及び施設整備の充実並びに各種事業の効果的な運営を行うことにより生涯学習推進体制の充実を図る。
対象 ※誰、何に対して	尾上公民館
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	管理及び施設整備の充実並びに各種事業の効果的な運営

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	20,171千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	1,985千円
	一般財源	18,186千円

【会計】

会計	01一般会計
款	10教育費
項	07社会教育費
目	06公民館費
細目	010公民館運営管理事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	20,171千円	20,586千円	20,682千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	指定管理者による地域の実情に即した管理運営が円滑に行われている。今後は地域の実情に即した事業展開及び設備の更新等を行うことで、住民のさらなる利用促進を図り、地域の生涯学習活動拠点を目指す。

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	尾上公民館管理運営事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
加古川市人口（4/1付推計人口）	人	263,954	265,524	266,451

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
開館日数	日	341	343	344
活動指標分析結果	予定通りの開館日数となった。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
施設利用者数	人	101,310	102,470	101,285	平成31年度	102,000
成果指標分析結果	利用人数及び各利用区分について、昨年度とほぼ同様の数値であった。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	別府公民館管理運営事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	02地域における教育・学習環境を整備する
施策	01生涯学習を推進する
事業実施期間	平成19年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	別府地区
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	住民のニーズ、趣味、趣向が多様化し、公民館を取り巻く状況の変化が近年著しい。また、当館は指定管理者が管理運営しており、その独自性を活かして事業展開を図っている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	管理及び施設整備の充実並びに各種事業の効果的な運営を行うことにより生涯学習推進体制の充実を図る。
対象 ※誰、何に対して	別府公民館
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	管理及び施設整備の充実並びに各種事業の効果的な運営

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	21,601千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	1,636千円
	一般財源	19,965千円

【会計】

会計	01一般会計
款	10教育費
項	07社会教育費
目	06公民館費
細目	010公民館運営管理事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	21,601千円	22,326千円	22,550千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	指定管理者による地域の実情に即した管理運営が円滑に行われている。今後は地域の実情に即した事業展開及び設備の更新等を行うことで、住民のさらなる利用促進を図り、地域の生涯学習活動拠点を目指す。

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	別府公民館管理運営事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
加古川市人口（4/1付推計人口）	人	263,954	265,524	266,451

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
開館日数	日	341	343	344
活動指標分析結果	予定通りの開館日数となった。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
施設利用者数	人	88,913	96,268	102,971	平成31年度	89,000
成果指標分析結果	利用者区分のうち、高齢者については増加していたが、青少年、成人及びその他区分の利用者が著しく減少したため。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	高齢者学習事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	02地域における教育・学習環境を整備する
施策	01生涯学習を推進する
事業実施期間	平成23年度～永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	社会教育法

【事業概要】

現状と課題	高齢者人口は増加しているが、受講者数は横ばいまたは減少傾向にある。また、学習の成果を地域活動につなげることが十分ではない。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	高齢者の生きがいの創造及び地域における高齢者のボランティア活動などへの参加促進を図る。・高齢者の学習意欲の高揚及び地域活動の機会の提供
対象 ※誰、何に対して	市内の高齢者(60歳以上)
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	高齢者大学及びOB会の自主的な運営の支援・学習の成果を地域に還元できるものを重点とした講座等の開催

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	1,734千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	1,734千円

【会計】

会計	01一般会計
款	10教育費
項	07社会教育費
目	06公民館費
細目	060生涯学習事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	1,734千円	1,727千円	1,769千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	趣味や教養を高めるための知識を習得するといった自己完結型な学習だけでなく、学習成果を活用することを視野に置き、学びの循環を構築することが必要である。

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	高齢者学習事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
60歳以上の人口(4月住民基本台帳)	人	86,506	85,997	85,158

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
講座開催回数	回	257	266	274
活動指標分析結果	高齢者の学習を支援することに加え、学習成果をボランティア活動や地域づくりに活かせるような内容の講座を開催していく。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
高齢者大学学生数	人	1,215	1,238	1,365	平成31年度	1,250
成果指標分析結果	高齢者人口は増加しているが、受講者数は横ばいまたは減少傾向にある。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	社会教育委員、推進員設置事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	02地域における教育・学習環境を整備する
施策	01生涯学習を推進する
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	社会教育法、加古川市社会教育委員条例、加古川市社会教育推進員設置に関する条例

【事業概要】

現状と課題	核家族化の進行に伴い、家庭の教育力の低下や、コミュニティの希薄化による地域の教育力の低下が指摘されており、学校、家庭、地域の連携による教育が求められている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	・社会教育委員会議を通して、社会教育の振興を図る。 ・社会教育に携わる指導者や地域のリーダーを養成するとともに、その資質や能力の向上を図る。
対象 ※誰、何に対して	社会教育委員、社会教育推進員
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	・社会教育委員会議の開催 ・社会教育推進員の設置、研修によるリーダー養成

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	12,762 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	12,762 千円

【会計】

会計	01一般会計
款	10教育費
項	07社会教育費
目	01社会教育総務費
細目	005社会教育委員、推進員設置事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	12,762 千円	12,840 千円	13,127 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 地域づくり、生涯学習の推進には、今後も社会教育委員、社会教育推進員による地域に根ざした活動が不可欠である。
---------------------------------------	---

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	社会教育委員、推進員設置事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
加古川市社会教育委員数	人	14	14	14
社会教育推進員数	人	393	392	395

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
社会教育委員会議開催回数	回	5	6	5
社会教育推進員研修会開催回数	回	5	5	5
活動指標分析結果	社会教育委員会議においては、年間6回開催し、社会教育行政について意見をいただいております。平成30年度は議事の進行により、5回の実施となった。社会教育推進員研修会は、全推進員を対象に年2回、エリア代表者を対象に2回、小学校区代表者を対象に1回開催し、推進員としての資質向上を図る。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
社会教育委員会議参加率	%	75.7	83.3	85.7	平成31年度	90
社会教育推進員研修会参加率	%	70.7	70.2	69.3	平成31年度	75
成果指標分析結果	推進員の研修会参加率は70.7%と昨年度より0.5ポイント増となった。引き続き参加啓発が必要である。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	障がい児（者）家庭教育学級事業	部局名	教育指導部
		課（室）名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	02地域における教育・学習環境を整備する
施策	01生涯学習を推進する
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	インクルーシブ教育の理念が浸透する中、障がい児（者）をもつ親の家庭教育に対する課題を解決するとともに、障がい者問題に対する理解を広めることが求められている。
目的 ※対象（誰・何）をどのような状態にしたいのか	障がい児（者）をもつ親が当面している家庭教育の課題を、相互学習や情報交換により解決を図る。また、交流学習や市民との交歓活動をとおして障がい者問題に対する正しい理解の啓発を図る。
対象 ※誰、何に対して	障がい児（者）をもつ親、または障がい児（者）教育に関心を持つもの
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	障がい児（者）家庭教育学級事業を委託し、家庭教育についての学習、交流啓発の実践を行う。

【コスト】

	平成30年度（決算見込）	
事業費合計	1,398 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	1,398 千円

【会計】

会計	01一般会計
款	10教育費
項	07社会教育費
目	01社会教育総務費
細目	010生涯学習推進事業

【コスト推移】

	平成30年度（決算見込）	平成29年度（決算）	平成28年度（決算）
事業費合計	1,398 千円	1,382 千円	1,400 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	障がい児（者）を持つ親が共に学び、問題を共有する場として、有効である。

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	障がい児（者）家庭教育学級事業	部局名	教育指導部
		課（室）名	社会教育・スポーツ振興課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
障がい児（者）家庭教育学級生数	人	389	429	381

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
家庭教育事業平均学習時間（1学級あたり・年間）	時間	23	22	22
交流啓発事業平均学習時間（1学級あたり・年間）	時間	10	11	11
活動指標分析結果	ほとんどの学級では、規定の学習時間を大きく超えており、各家庭教育学級は活発に活動している。ただし、平成28年度より委託料の減額に伴い、各々の規定時間を減らしている。（家庭教育事業：15時間→13時間、交流啓発事業：5時間→4時間）			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
障がい児（者）家庭教育学級満足度	%	100	97.4	97.2	平成31年度	100
成果指標分析結果	事業に対する満足度は非常に高い。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	成人式実施事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	02地域における教育・学習環境を整備する
施策	01生涯学習を推進する
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	民法、国民の祝日に関する法律

【事業概要】

現状と課題	平成12年度より実施していた同窓会事業に、平成24年度より社会貢献事業を新たに加えて記念事業とし、各中学校単位で新成人自らが企画・運営しており、参加者の評価は概ね良好である。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	新成人を祝うとともに、社会人としての自覚を促す。
対象 ※誰、何に対して	当該年度中に20歳に到達する者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	成人式記念式典を実施するとともに、新成人自らが各中学校単位で成人式記念事業を企画・運営する。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	2,270千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	2,270千円

【会計】

会計	01一般会計
款	10教育費
項	07社会教育費
目	01社会教育総務費
細目	010生涯学習推進事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	2,270千円	2,068千円	2,649千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	事業全体にわたり新成人の参画による運営をしており、社会人への自立と自覚を促す事業として概ね良好な結果を得ている。今後は新成人がさらに主体的に地域に貢献できる事業を企画することが課題である。

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	成人式実施事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
当該年度20歳到達者数	人	2,978	2,904	2,951

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
成人式記念式典参加者数	人	1,800	1,800	1,700
成人式記念事業(社会貢献事業)参加者数	人	65	63	109
成人式記念事業(同窓会事業)参加者数	人	1,953	1,813	1,877
活動指標分析結果	記念式典及び同窓会事業は約6割の参加率となっており、概ね良好な参加率となっているが、社会貢献事業は1割以下の参加率であり、参加率を伸ばす工夫が必要である。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
成人式記念式典参加者満足度	%	93	93	97.3	平成31年度	95
成人式記念事業(社会貢献事業)参加者満足度	%	97	100	82.6	平成31年度	100
成人式記念事業(同窓会事業)参加者満足度	%	97	96	95.9	平成31年度	97
成果指標分析結果	目標値を下回ったため、今後さらに満足度の高い事業となるよう、工夫が必要である。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	生涯学習創出事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	02地域における教育・学習環境を整備する
施策	01生涯学習を推進する
事業実施期間	平成23年度～永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	社会教育法

【事業概要】

現状と課題	学習を活かした自己実現とともに、学習の成果を活かすための取り組みの必要性が増加。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	参加者自らの教養を高める
対象 ※誰、何に対して	生涯学習に関心をもつ市民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	地域の生涯学習の拠点、また社会教育施設としての目的に則した講座等の開催

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	4,685千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	3,971千円
	一般財源	714千円

【会計】

会計	01一般会計
款	10教育費
項	07社会教育費
目	06公民館費
細目	060生涯学習事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	4,685千円	4,595千円	4,592千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	市民が自発的意思にもとづき、自己に最適な手段・手法を選んで生涯を通じて行う生涯学習を支援する施策として、様々なニーズに応じた講座等を行う中核的な場としての公民館機能を果たしている。

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	生涯学習創出事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
加古川市人口（4/1付推計人口）	人	263,954	265,524	266,451

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
講座開催回数	回	1,185	1,111	1,130
活動指標分析結果	受講者の学習ニーズが多様化し、学習内容が画一的なものでは不十分になってきた。開催回数はもとより内容も重要視される傾向が強くなってきた。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
講座参加者数	人	17,473	15,129	17,127	平成31年度	17,500
成果指標分析結果	講座実施数増に伴い参加者数も増となった。今後も幅広い世代に広げる工夫を継続し、さらに参加者数の増を図る必要がある。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	地域子育て創生事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	02地域における教育・学習環境を整備する
施策	01生涯学習を推進する
事業実施期間	平成23年度～永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	地域コミュニティの希薄化や核家族化が進むなか、子育てに悩む親が増加している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	子育てについての悩みや、子育てについて学ぶことにより、安心して子育てができるよう地域で応援していく。
対象 ※誰、何に対して	子どもや子育て中の市民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	地域で子育てを支援することを目的に、ボランティアなどの協力のもと、公民館に幼児等の子育て世代の親子が集い、様々な体験学習の場を提供している。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	143千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	143千円

【会計】

会計	01一般会計
款	10教育費
項	07社会教育費
目	06公民館費
細目	055地域コミュニティ事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	143千円	198千円	209千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 地域における子育て支援体制の強化・地域教育力の向上を図るために有効な事業であるが、今後さらに事業規模の拡大を図ることが有効であると思われる。
---------------------------------------	--

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	地域子育て創生事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
中学生以下の児童がいる世帯人数	人	84,939	87,114	

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
講座開催回数	回	540	527	588
活動指標分析結果	講座内容の見直しにより回数は増となった。今後も子どもや親子を対象に、高齢者大学生や地域住民の協力を得て、さまざまな体験学習の機会を提供していく。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
講座参加者数	人	12,865	13,174	14,246	平成31年度	12,900
成果指標分析結果	講座開催回数は増加しているが、参加者数が減少しているため、今後は、より受講者のニーズに応じた事業を実施していく必要がある。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	地域人材育成事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	02地域における教育・学習環境を整備する
施策	01生涯学習を推進する
事業実施期間	平成23年度～永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	社会教育法

【事業概要】

現状と課題	地域コミュニティの希薄化が進むなか、地域の人々、友人、世代を超えた人々との間の「顔の見える」助け合いにより行われる「互助」の必要性がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	地域コミュニティ活動を活発化のための様々なリーダーの養成を図る。
対象 ※誰、何に対して	目的をもって既に活動している公民館内の登録団体会員・社会教育推進員・少年団指導者・新たな活動のリーダーを担う者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	事業目的を達成するために効果が得られる講座。地域課題の解決、より良い地域づくりをするための具体的な学習及び活動(登録団体、社会教育推進員、少年団等を対象とした学習会等の実施)

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	279千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	279千円

【会計】

会計	01一般会計
款	10教育費
項	07社会教育費
目	06公民館費
細目	055地域コミュニティ事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	279千円	330千円	351千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>今後は、知識を習得するといった自己完結型な学習だけでなく、学習成果を次のリーダーに引継ぐことを視野に置いた、学びの好循環を構築することが必要である。地域リーダーの資質向上にも寄与している。</p>

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	地域人材育成事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
加古川市人口（4/1付推計人口）	人	263,954	265,524	266,451

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
講座開催回数	回	105	112	82
活動指標分析結果	講座内容の見直しにより開催回数が増加となった。今後もボランティア養成講座など地域で活躍できるリーダーを養成する機会を増やす。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
講座参加者数	人	2,234	2,562	2,689	平成31年度	2,300
成果指標分析結果	講座の見直しを行ったことにより参加者数が減少となった。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	図書館に要する一般的経費	部局名	教育指導部
		課(室)名	中央図書館

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	02地域における教育・学習環境を整備する
施策	01生涯学習を推進する
事業実施期間	昭和46年度～永年
事業区分	①一般事務経費事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	教育基本法、社会教育法、図書館法、加古川市立図書館の設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	市民の学習要求の高まりや社会状況の変化によって、市民の図書館に求める要求が多様化しつつある。地域の情報センターとして応えていくために、サービスの充実に努める必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	加古川市の図書館が図書館法に適った活動を行い、社会教育施設としての機能を果たすことができるように、図書館全般の活動を支える。
対象 ※誰、何に対して	加古川市に居住、通勤、通学している者及び播磨地域に居住している者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	図書館を快適かつ効率よく利用できるように環境整備を行う。また、図書館業務全体のサービスの向上を図る。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	23,528千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	105千円
	一般財源	23,423千円

【会計】

会計	01一般会計
款	10教育費
項	07社会教育費
目	10図書館費
細目	005図書館に要する一般的経費

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	23,528千円	23,239千円	23,030千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	図書館を十分に機能させるために、職員の職能向上のための研修、システムの運用、必要物品の購入など図書館活動のための基本的な事業を確実に維持継続していくことにより市民の生涯学習環境を充実させる必要がある。

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	図書館に要する一般的経費	部局名	教育指導部
		課(室)名	中央図書館

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	図書館維持補修事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	中央図書館

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	02地域における教育・学習環境を整備する
施策	01生涯学習を推進する
事業実施期間	昭和46年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	教育基本法、社会教育法、図書館法、加古川市立図書館の設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	市立図書館は、2館とも耐用年数を相当超えた施設・設備が多く、加古川図書館は特に老朽化が著しい。また、建設当時の特殊な施設等のため、修繕が困難な箇所も多く、故障の頻度が年々高くなってきている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市立図書館2館を不具合なく管理することで、それぞれの利用者が安全かつ快適に利用できるようにする。
対象 ※誰、何に対して	中央図書館及び加古川図書館
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	中央図書館（指定管理者負担部分を除く加古川総合文化センター東棟）及び加古川図書館の施設・設備の維持管理を行う。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	19,662千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	2千円
	一般財源	19,660千円

【会計】

会計	01一般会計
款	10教育費
項	07社会教育費
目	10図書館費
細目	010図書館維持補修事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	19,662千円	19,836千円	46,819千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	中央図書館（加古川総合文化センター東棟）、加古川図書館とも老朽化により施設・設備ともに要修繕箇所が年々増加している。市民に安全で快適な利用環境を提供するため、適正な維持管理に努めるとともに、緊急度の高いものから年次計画を立てて修繕していく必要がある。

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	図書館維持補修事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	中央図書館

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
全市民人口	人	262,647	263,954	265,524

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
開館日数	日	324	324	324
活動指標分析結果	両図書館とも老朽化が進んでいるが、設備等の定期点検を実施するとともに、緊急性の高いものから計画的に修繕を行ってきたため、計画どおり開館でき、利用者への影響はなかった。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
年間貸出人数	人	246,679	254,109	259,580	平成32年度	260,000
成果指標分析結果	故障が頻発していた加古川図書館の空調を平成28年度に更新したことで、平成29年度以降は両図書館とも施設等による利用者への直接的な影響はなかった。					

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	中央図書館維持管理事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	中央図書館

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	02地域における教育・学習環境を整備する
施策	01生涯学習を推進する
事業実施期間	平成21年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	教育基本法、社会教育法、図書館法、加古川市立図書館の設置及び管理に関する条例、協定書

【事業概要】

現状と課題	昭和60年に開館した中央図書館（加古川総合文化センター東棟）は30年以上が経過し、老朽化が進み、耐用年数を超えた設備も増えつつある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	中央図書館を不具合なく効率的に管理することで、利用者が安全かつ快適に利用できるようにする。
対象 ※誰、何に対して	中央図書館（加古川総合文化センター東棟）
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	中央図書館の維持管理に要する業務（設備管理運転、清掃、警備等）を加古川総合文化センター本部棟と併せて行う。（費用は加古川総合文化センター指定管理者と按分）

【コスト】

	平成30年度（決算見込）	
事業費合計	14,553千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	14,553千円

【会計】

会計	01一般会計
款	10教育費
項	07社会教育費
目	10図書館費
細目	010図書館維持補修事業

【コスト推移】

	平成30年度（決算見込）	平成29年度（決算）	平成28年度（決算）
事業費合計	14,553千円	14,553千円	14,609千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	中央図書館（加古川総合文化センター東棟）の維持管理を行うためには必要不可欠な事業である。

事務事業名	中央図書館維持管理事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	中央図書館

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	読書啓発事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	中央図書館

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	02地域における教育・学習環境を整備する
施策	01生涯学習を推進する
事業実施期間	昭和46年度～永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	教育基本法、社会教育法、図書館法、子どもの読書活動の推進に関する法律、文字活字文化振興法

【事業概要】

現状と課題	利用者の読書要求は多様であり、資料の選定には的確さが求められる。また、障がい者等の来館困難者など、利用者の状況に応じたサービスが必要である。貸出、レファレンス、集会行事を柱にしつつも、効果的な実施のために手段、手法において工夫や課題は残されている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	資料や情報を提供することを通じて、社会教育施設としての役割を果たし、併せて地域の情報センターとして文化力の向上と生涯学習を推進する。
対象 ※誰、何に対して	加古川市に居住、通勤、通学している者及び播磨地域に居住している者。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	利用者の多様な読書及び情報ニーズに即応できるように的確な資料収集と提供に努め、レファレンスサービス、各種事業及び集会行事の実施により情報支援と読書啓発を図る。子どもの読書環境整備については、第2次「加古川市子どもの読書活動推進計画」に沿った取組を継続する。また、障がい者等来館困難な人へのサービスについても検討していく。

【コスト】

	平成30年度(決算見込)	
事業費合計	33,644千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	33,644千円

【会計】

会計	01一般会計
款	10教育費
項	07社会教育費
目	10図書館費
細目	005図書館に要する一般的経費

【コスト推移】

	平成30年度(決算見込)	平成29年度(決算)	平成28年度(決算)
事業費合計	33,644千円	34,205千円	38,014千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	資料の収集及び提供、レファレンスなどの情報サービス、集会行事などによって、地域の読書環境の充実や生涯学習の推進について一定の効果あげている。しかしながら、多様化する市民の読書ニーズに十分に対応できていない点や来館できる健常者以外には必要なサービスができていない点もある。今後は現行事業を継続し、質的向上を図っていく必要がある。具体的には、児童の読書環境の整備、利用の少ない若い世代への働きかけ、家庭及び学校園に対する支援を推進、電子図書館サービスの継続、障がい者や高齢者、来館困難者へのサービス、職員のスキル向上などが考えられる。

加古川市事務事業評価シート〈平成30年度実施事業〉

事務事業名	読書啓発事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	中央図書館

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
全市民人口	人	262,647	263,954	265,524

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度
蔵書数	冊	495,711	496,022	501,670
レファレンス件数	回	1,988	2,093	2,032
集会行事開催数	回	170	201	211
活動指標分析結果	蔵書数、レファレンス件数については、前年度並みを維持した。集会行事の参加者数が減少したが、一部の行事を集計対象外にしたこと、定員が行事の催行設定で左右されることなどによる。引き続き内容等を工夫して実施していく必要がある。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	平成29年度	平成28年度	目標年度	目 標 値
年間図書貸出冊数	冊	807,191	775,042	785,418	平成32年度	850,000
年間貸出人数	人	246,679	254,109	259,580	平成32年度	260,000
集会行事の参加者数	人	3,281	4,592	5,418	平成32年度	4,000
成果指標分析結果	前年度比で年間図書貸出冊数は4%ほど増加したが、貸出人数が2%強減少した。児童数の減少が要因の一つであるが、窓口対応の向上、多様な蔵書、効果的な資料の展示や集会行事など、魅力と居心地のよさを持つ図書館を工夫していかなくてはならない。					